

台東区道路愛称名の由来

番号	愛称名	由来
1	すえひろれんがどおり すえひろレンガ通り	末広商店街とレンガ色の舗装に因んで
2	なかかちいちどおり 仲徒一通り	仲御徒町1丁目町会に因んで
3	ことぶきこどもえんどおり ことぶきこども園通り	ことぶきこども園に因んで
4	あさひかいどおり アサヒ会通り	アサヒ会商店街に因んで
5	くらまえしょうがっこうどおり 蔵前小学校通り	蔵前小学校に因んで
6	さんけいどおり 三桂通り	旧町名の三筋町、桂町に因んで
7	いっぶくよこちょう いっぶく横丁	地元の人、観光客が訪れる小さな飲食店が多いため
8	しんそどおり 親疎通り	言問通りから南100m幅が強制疎開の対象とされた。疎開という言葉を忘れず、後世に伝えるため
9	こまちゅうどおり 駒中通り	区立駒形中学校に因んで
10	とりこえみょうじんどおり 鳥越明神通り	鳥越神社（鳥越明神）に因んで
11	おくらまえどおり 御蔵前通り	江戸時代に幕府の御蔵があったことから
12	せんりゅうよこちょう 川柳横丁	沿道の龍宝寺に、川柳の始祖である柄井川柳の墓があることに因んで
13	えめらんどあべにゅー エメラルドアベニュー	御徒町の来街者への利便性向上等のため
14	ひすいあべにゅー ひすいアベニュー	御徒町の来街者への利便性向上等のため
15	だいまもんどあべにゅー ダイヤモンドアベニュー	御徒町の来街者への利便性向上等のため
16	さんごすとリーと 珊瑚ストリート	御徒町の来街者への利便性向上等のため
17	るびーすとリーと ルビーストリート	御徒町の来街者への利便性向上等のため
18	さふあいやすとリーと サファイヤストリート	御徒町の来街者への利便性向上等のため
19	すみちょうどおり 角町通り	旧町名である「角町」に因んで
20	なかのちょうどおり 仲之町通り	吉原のメインストリートの「仲之町」に因んで
21	えどちょうどおり 江戸町通り	旧町名である「江戸町」に因んで
22	あげやどおり 揚屋通り	旧町名である「揚屋町」に因んで
23	きょうまちどおり 京町通り	旧町名である「京町」に因んで
24	ふくいちょうどおり 福井町通り	旧町名の「福井町」に因んで
25	かみなりもんいちのみやどおり 雷門一之宮通り	商店会名に因んで

26	せいかどおり 精華通り	精華小学校の名前を精華公園とともに末永く残すため
27	たまひめいなりじんじゃどおり 玉姫稲荷神社通り	玉姫稲荷神社に因んで
28	きよかわぶんしつどおり 清川分室通り	北部区民事務所清川分室に因んで
29	いちようぎくら・こうげつどおり 一葉桜・光月通り	街路樹（一葉桜）及び光月町会に因んで
30	すけろくゆめどおり 助六夢通り	歌舞伎の演目「助六由縁江戸桜（すけろくゆかりのえどぎくら）」の花川戸助六に因んで
31	ろっくよこちょう 六区横丁	公園六区に因んで
32	くらまえじんじゃどおり 蔵前神社通り	蔵前神社の参道に因んで
33	やなぎばしちゅうおうどおり 柳橋中央通り	柳橋1丁目と2丁目の中央にあることに因んで
34	やなぎばししのづかどおり 柳橋篠塚通り	篠塚稲荷神社に因んで
35	やなぎばしおおかわばたどおり 柳橋大川端通り	隅田川の下流部がかつて「大川」と呼ばれていたことに因んで
36	やなぎばしさくらきたどおり 柳橋桜北通り	街路樹の桜（アーコレード）に因んで
37	やなぎばしさくらみなみどおり 柳橋桜南通り	街路樹の桜（アーコレード）に因んで
38	おかずよこちょう おかず横丁	周辺に町工場が多く、共働きの家庭では、この横丁で「おかず」を買い求めていたことから
39	まごぞうどおり 孫三通り	孫三稲荷に因んで
40	きねやどおり 杵屋通り	周辺に長唄や三味線などの「杵屋」を名乗る師匠が多く住んでいたことに因んで
41	ねぎしやなぎどおり 根岸柳通り	通りの両側に植えられた柳の木に因んで
42	しのぶしょうどおり 忍小通り	区立忍岡小学校に因んで
43	あさくさこうふくいなりどおり あさくさ幸福稲荷通り	沿道にある幸福稲荷大明神に因んで
44	がくもんのみち 学問のみち	JR御徒町駅を起点とし、湯島天神まで一本道でつながっていることから
45	やなかきってどおり 谷中キッテ通り	多くの人にキッテ（来て）頂きたい。また切手同様、人と人、人と物をつなぐ役割を果たしたいから
46	おぎょうのまつどおり 御行の松通り	初代御行の松は根岸小校歌にも歌われ、江戸時代から地域のシンボル。歴史ある根岸文化を継承したいため
47	あさくらちょうそかんどおり 朝倉彫塑館通り	沿道に国の有形文化財の朝倉彫塑館があり、「朝倉彫塑館通り」とすることについて地元の機運が盛り上がったため
48	ろくあみだよこちょう 六阿弥陀横丁	江戸六阿弥陀霊場の第五番として知られた、天台宗「常楽院」の門前通りが同地にあったことから
49	さんまいばしよこちょう 三枚橋横丁	当時は付近の不忍池より界限に忍川が流れており、「三枚橋」という橋梁が架かる通りがあったことから
50	まりしてんよこちょう 摩利支天横丁	下谷廣小路の日蓮宗「摩利支天徳大寺」の門前通りとして名付けられ、現在も同寺への参道となっていることから

51	ろくあみだどおり 六阿弥陀通り	江戸時代における六阿弥陀詣での巡拝経路の一部であり、地域で古くから呼ばれている名称であることから
52	しもねぎしちゅうおうどおり 下根岸中央通り	下根岸町（旧町名）の区域の中央部に位置する道路であるため
53	いちようきねんかんどおり 一葉記念館通り	沿道に区立一葉記念館が立地していることから
54	ちややまちどおり 茶屋町通り	吉原揚屋通りに続く道として、幕末には多くの引手茶屋が軒を連ね栄えた通りであったことから